

KSKP

2013年

## シティライトだより

…まちのあかりとなるように… VOL.12

### シティライトに新しい風が吹き始めました。

吉田裕昭 理事長

シティライトは4月から新しいメンバーが2名増え、20名になりました。今年度も個性あふれるメンバーが入ってきました。私も理事長として2年目を迎えました。ひとり一人が自分らしくいられる場として、シティライトがその一つとなってきているように思います。

また9月には、女子のグループホームがオープン予定です。これからもシティライトをよろしく願いいたします。



(2013年7月13日 「溝渕さんありがとうミニライブ」にて)

#### もくじ

表紙：理事長あいさつ

P4～P5：お仕事について、旅行について

P2：シティライトのメンバー紹介

P6：建設資金のためのご寄付のお願い

P3：女子のグループホーム

P7：スタッフ溝渕より挨拶

## 「シティライトのメンバー紹介」

☆ぼく「たろう」といいます。

3月末から、シティライトに来ました。メンバーさんが僕に名前を付けてくれてました。畑へ行ったり、おいしいお野菜を食べたり、毎日楽しく過ごしています。平日はシティライトにいるので、是非僕に会いに来てください！



「白いからとっても珍しがられます！」

☆イケメン、新人メンバー



4月からシティライトの新しいメンバーになった「福中健吾くん」です。特別支援学校を今年の3月に卒業したばかりで、一番若く男前です。お仕事は、車に乗って配達へ行ったり、西区の畑で野菜の収穫をしたり、タオルを

たたむ作業をしています。新人歓迎会では、カラオケで「おどるポンポコリン」や「キューティーハニーの主題歌」などをとっても上手に歌っていました。どうぞよろしくお祈いします。

☆スタッフ紹介

この度、ご縁を頂いて勤務することになった日下篤子と申します。



「日下篤子(右)」

私が始めてシティライトに出会ったのは、被災地障害者センターでボランティアをしていた大学生の頃で「沢山の人が入り出しているにぎやかな場所」という印象を持っていました。その後、結婚・出産し、子どもに「色々な人が当たり前で暮らす社会」を感じて欲しいと思い、エコフェスタや餅つき等、様々なイベントへ一緒に参加させて頂きました。そこで、いつでも温かく迎えて下さるメンバーさん、職員さんにひかれてやってきました。主にお店のほうにおりますので、気軽に声をかけて下さいね！ピチピチの新人というには少々無理がありますが(笑)ウサギ・たろう先輩に負けない様に精進しますのでどうぞよろしくお祈い致します。

## 「女子のグループホームがオープンします！」

2009 年に、男子グループホーム「ててる」がオープンして間もなく 4 年が来ようとしています。そこで、世話人や支援員たちと楽しく暮らすメンバーをみて女子組も早くグループホームが欲しいと声が上がってきました。親が亡くなりホームでずっと暮らす人、親はまだまだ元気だけど自立の練習をしたいとウイークディをホームで暮らす人たちに刺激を受けたようです。

まずは宿泊訓練からと、「ててる」の空き室を借り 3 名のお姉さんたちから体験入居を始めました。ご飯作りや片付け、洗濯とお家では全部家の人ができるけど、ここでは出来る事は自分たちでしなければいけません。これが「女子ててる」(仮称)の始まりです。

私たちはホームの物件探しを始めるのですが障害者というだけで貸してもらえません。やっと、貸していただける家があっても消防法や建築基準(神戸市のいうところの)であきらめざるをえませんでした。グループホームはもう自力では出来ない、彼女たちは将来どうなる？ずっと宿泊訓練のまま？後に続くメンバーは？一人暮らしの練習もしないといけない？などと不安と混乱の日々を過ごしました。

2 年前より、兵庫県の施策で県営住宅の空き室をグループホームに活用するというマッチング事業が始まり、便利の良い街中の住宅は無理とあきらめつつそちらも申し込んでおりました。ところが今回、作業所と同じ兵庫区内の大開住宅の紹介をいただいたのです。時期が年度末だった事もあり事務手続きが手間取りましたが、区市への書類提出も済みあとは

事業所指定と改修を残すのみという所までできました。

さっそく、ホームの名前を皆で決め、「女子ててる」あらため「ひまわり」(話題の安藤美姫ちゃんの娘と一緒にです)となりました。これまでの事、そしてこれからの事、まだまだ課題はいっぱいで神戸市とも交渉していかなければいけません、なんとかここまでこぎつけられたことに感謝いたします。「ててる」同様、どうぞ「ひまわり」も応援よろしく願います。

### 「女子の宿泊訓練」

毎月 2 回～3 回、ホームててるの空床を利用して宿泊訓練を行っております。宿泊訓練も 3 年目を迎えました。



いつも夕食のメニューはみんなで決めます。近頃は健康に気を使い、ヘルシーなメニューにしようと、シティライトの商品を使ったりもしています。最近作った「冷し中華」は、他のお店で買うものよりとてもあっさりしていました。是非お試しください！

メンバーさんはグループホームができたらいねという思いを胸に、自分たちでできることは自分でしようと毎回目標を持って宿泊訓練をしてきました。実家で暮らしているメンバーの T さんは、「親に甘えていたらいつになってもできない。」と、土曜日と日曜日に、家で洗濯することに今チャレンジしています。もうすぐできる「グループホーム」を楽しみに宿泊訓練を行い、そして自立した生活を目指しています。

## 「お仕事いっぱいありがとうございます」

☆今年の 4 月より「はっぴークリーニング」さんから、タオルのお仕事を頂いています。



### 「タオルのしわを伸ばしています」

朝クリーニング屋さんから乾燥機で乾かされたほっかほかのタオルを大きい袋にもらってきます。私たちは、主に美容院で髪を染める時に使う黒いタオルをたたみ、ひもで縛り、袋に入れ



て納品するまでの作業をしています。まず、タオルを袋から出し、しわを伸ばす人、たたむ人、運ぶ人、ひもで縛る人というように、それぞれができる作業を分担して行っています。タオルの作業が好きだというメンバーさんも多く、毎日もくもくとお仕事をしています。

☆「消費者クラブ」さんより、チラシの封入作業のお仕事を頂いています。

### 「チラシを 1 枚ずつ取る作業」



毎週金曜日に、消費者クラブへ商品の納品に行き、チラシと袋を頂いてきます。机に 9~10 種類のチラシを並べ、一枚一枚重ねて行きます。チラシを重ね終わると、そのチラシをビニールの袋に入れていきます。月曜日の夕方に納品のため、月曜日が祝日の日も一部のメンバーさんは出勤してお仕事をします。毎回約 1000 部を納品します。



### 「慣れた手つきでチラシを袋へ」

## 「福島の子どもたちへの取り組み」

シティライトのメンバーの川端智大さんは、2011年の3月11日に起きた原発事故後、福島の子どもたちへ想いを馳せ、自分でできることとして、今年も行われる、福島の子どもを招く保養プロジェクト「たこやきキャンプ」に参加します。そんな川端さんから今の思いを聞いてみました。「福島のことを忘れないでほしい。福島の子どもたちのために、募金活動をしています。シティライトに募金箱を設置しています。ご協力をお願いします。」現地へ行かなくてもできることはたくさんあります。

## 「グループホームててる旅行 in 伊勢」

毎年行っている「ててる旅行」。今年は6月14日・15日で伊勢に9名(メンバー5名、シティライト職員、ボランティア)で行ってきました。

☆1日目ー14日(金)

ホームててるを午前7時に車で出発しました。途中高速での事故渋滞もありましたが、12時頃伊勢に到着し、楽しみにしていた昼食を済ませ、「鳥羽水族園」に到着しました。

水族園ではアシカショーやセイウチショー等を楽しみました。その後伊勢湾めぐりをし、16時「伊勢グランドホテル」にチェックインしました。ててるご一行が泊まった部屋は8階で、伊勢の海が一望でき、すてきな景色を見ることができました。

海に見える大浴場に入り疲れを癒した後は、待ちに待った晩御飯のバイキングです。伊勢えびや、地元の郷土料理を食べ、テンションがあがりっぱなしの一日でした。



「とってもおいしかったバイキング」  
☆2日目ー15日(土)

朝食を済ませた後、「夫婦岩」を見て、「おかげ横丁」へ行きました。昼食は、おいしいと評判のお店で「伊勢うどん」を食べました。Kさんは伊勢うどんに思わずニコリ！皆さんご満悦でした。そして「伊勢神宮」へ行きお参りをし、伊勢を後にしました。メンバーさんは、「ホテルでの食事がバイキングでたくさん食べられてよかった。お寿司が特に美味しかった。」「朝のお風呂の景色がとても良かった。」「料理が美味しかった！朝風呂が凄く気持ちよかったです。」「行けてよかった。伊勢うどんがおいしかった。」と、とても楽しかったようです。

メンバーさんは、前々日からテンションが上がりがなかなか眠りにつけなかったようです。2日間穏やかな天気にも恵まれ、伊勢旅行はメンバーさんにとって日頃の疲れをリフレッシュ出来たように思いました。



「夫婦岩で記念撮影」

## 「毎週がやさい祭いですよ～」

西区の川端さんの畑で、減農薬で栽培された野菜の収穫に毎週水曜日に行っています。うさぎの太郎も一緒に行き、びよんぴよん跳ねてお仕事？しています。春の新玉ねぎはみずみずしくて甘く、大好評でした。暑くなってくると夏野菜、特にナスやキュウリなどが鈴生りです。しかし形のそろったきれいな物ばかりではありません。でっかい野球バットのようなキュウリもたくさんあります。とうてい普通のスーパーなどでは並ばないような形です。まっすぐじゃないし、太いけれど、「そのほうが味や食感が好き」「田舎のキュウリみたいで懐かしい」と言って好んで下さる方もいます。一筋縄ではいかないけれど、なんか味がある。まるでシティライトそのもの。

しかし、あまりにもたくさん出来過ぎて販売が追いつかないこともあります。作業所で昼食に使うにしても多すぎる。最近、くにか工房さん(中央区の作業所)や、荒田公園すぐ横にあるインド料理「神戸マハル」さんなどにたくさん買って頂いています。季節の野菜を多めに買いたいという方やお店などがおられましたら、ぜひご一報ください。また、野菜の加工も考えています。こんな活用方法があるよ、など、いいアイデアがあれば、ぜひ教えて下さい。



「西区の川端さんご夫婦」

## 「建設資金のご寄付ご協力のお願い」

以前の「シティライトだより」でも書かせていただきましたが、シティライトは引き続き、建設資金のご寄付ご協力をお願いしております。

今年度よりメンバーが増え、身体、知的など障害がある方たち20名が日々作業所を利用しています。当初より、火災や災害時は、特に身体に障害がある方たちの避難安全確保が出来ないため、2階では作業をしないようにと消防署から強く言われております。何かあったら皆が逃げられないという不安が日々つきまわっております。

## 近い将来、本当に安全で、誰もが使いやすい作業所を建設したいと思っております。

自己資金、銀行の借り入れやバザーなどの努力もしておりますが、現実までには膨大な資金が必要です。皆様からのご寄付ご協力をどうかよろしく願いいたします。

### 「寄付・会費振り込み先」

郵便振込口座 01180-0-73209

「シティライトを支える会」

通信欄に「支える会会員」か、「寄付」かを明記してください。

お問合せ先：社会福祉法人シティライト  
(T/F078-579-1470)

## 「かけがえのない出会い…

### 18 年間ありがとう」

このたび私、溝渕裕子はシティライトを退職し、故郷香川へ戻り、農業をすることにしました。この場を借りて、感謝の気持ちとご挨拶をさせていただきご無礼を、お許し下さい。

1995 年 1 月 17 日に阪神淡路大震が発生し、いともたってもおられない気持ちで神戸へきたことから、シティライトとのお付き合いが始まりました。屋根はブルーシートがかけられ、ほこりっぽい神戸の街を目にして、不安に駆られたのを昨日のこのように思い出します。

そして、被災地障害者センター（現・拓人こうべ）にボランティアとして入り、拠点になっていた公園で寝泊まりしながら、日々寄せられるニーズに対応するために走り回っていました。

初めてボランティアとしてシティライトに行った時に印象的だったのは、みんながここに来ることをとても楽しみにしていることでした。メンバーの人数も今より少なかったけれど、かなりにぎやか。神戸に来るまで障がい者との関わりがほとんど無かった私は、ここで聞くこと見ること、すべてが新鮮と驚きでした。また、地域の学校へ行く事、働くこと、外出すること、暮らすこと。そんな生活の全てにわたり障がい者を取り巻く状況は、ひとつひとつが困難であることを知り、憤るばかり。その中でシティライトの川岸義和さんの外出支援がきっかけで、知的障害者のガイドヘルプ制度化運動を展開することになったのです。

何かとシティライトと関わりを持つ中で、2008 年からは職員として働くことになりました。主にお店を担当したことで、お店の仕事を通じてメンバーの活躍の場を作り、売上も伸ばしたい。環境や

食の安全にこだわり新しいつながりを作りたい。地域で当たり前前に働き、出会う場になってほしい。そんなことを思いながらの日々でしたが、力不足で何も成しえないままなのが心苦しい・・・。

そして、常に私を導いてくれた神戸のみなさんとの出会いは本当にかげがえのないものです。煩惱のない仙人のような理事長のよっさん。店のことをくまなく把握している古株の前ちゃん。あの子がいるからこの店で買いたいと、お客に言わしめる程の笑顔と愛嬌抜群のつきー。のんびりのんちゃん。念願の女子グルホ、いい場所になりますように。18 年前と変わらぬやんちゃぶりで、あなたと離れることが一番心配だよ義和さん・・・。ここには書ききれないけれどメンバー 20 名全員、一緒に働いたスタッフ、そして出会った全ての人が、素敵な魅力にあふれています。時には怒ったり、けんかもしたけれど、みんなと離れることは本当に寂しい・・・。

神戸は震災で多くの別れや悲しみも経験したけれど、新しい出会いやつながりも生まれました。シティライトは「まちのあかり」。一人ひとりが人生の主人公となり、この社会を照らす「あかり」として、ますます「面白い」場所になっていく事を願っています。



「吉田理事長から花束をもらう溝渕」

## 「冷蔵庫がとどきました」

みんなのお店シティライト開店当初より、25 年以上も活躍してくれた冷蔵庫も、とうとう効きが弱くなり、買い替えを検討していたところ、2012 年度NHK歳末助け合い義援金の配分を受けることができ、新しい業務用冷蔵庫を購入することができました。最近は牛乳や豆腐だけでなく、収穫してきた野菜の保存などにも冷蔵庫をフル活用しています。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。新鮮な状態で商品をお届けしようと、みんなますます張り切っています。



### シティライトを支える会の会費、法人へのご寄付をいただいた方 (2013 年 1 月から 6 月末)

(敬称略、順不同)

末広雅彦 小牧明子 小林百合子 吉田豊 岡田祐子 大神博子 川岸政光 宝地院 宝地院保育園  
大賀順子 前田つゆこ 港島ステーション 武本登 国岡恵心 山城英一 浜根一雄 松尾照代 畑  
瀬緑 山本浩平商店 光葉啓一 高橋啓子 西山淳子 石島信子 白井進・美貴子 横山寛子 福中  
健吾 田波光子 明松しのぶ 床憲治 アラン・ブレイディ 槇浩司 小林るみ子

お名前の記載もれがありましたらお許しくださいませ、ご一報いただければ幸いです。この他にも、たくさんのバザー品を提供いただき、ありがとうございました。

### ご寄付のご協力よろしくお願ひします!

振込郵便口座 00180-0-73209  
振込用紙に「寄付」と明記してください。

また、シティライトでは会員になってくださる方(支える会会員)を募集しています。年会費は 3,000 円です。社会福祉法人シティライトの活動に賛同される方ならどなたでも結構です。支える会は、資金面での支援や、バザーをはじめとしたイベントを開催するなどの活動を行っています。

\* 振込郵便口座 00180-0-73209  
振込用紙に「支える会会員」と明記してください

お問い合わせ先「社会福祉法人シティライト」  
T/F 078-579-1470

### ボランティア、求人募集

シティライトでの昼食づくり(月・水・金)、お野菜の収穫(毎週水曜)、作業の補助(月~金)などのお手伝いをしてくださるボランティアの方を募集しています。興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

また、女子のグループホームができるにあたり、サポートをしてくださる方を求人募集します。夜のお食事作り、泊まりなど、いろいろな関わり方ができます。女子のメンバーが自立に向けて第一歩を踏み出そうとしています。お気軽にご連絡ください。

☆お問い合わせ (078-579-1470)

<編集後記>今まで勤めていたスタッフが退職。新しい人生のスタートを元気に送りだしたい気持ちもあるが、やはり寂しい。しかし、同じ気持ちを持っていれば、遠くにいても繋がっている。その繋がりは、ずっとずっと続く。そんな出会いがたくさんできたらいいな。「今までありがとうございました。」そして、シティライトを支えてくださっている皆さまともずっと繋がっていることに感謝いたします。(Q)

## シティライトだより VOL.12 定価 10 円

編集者：社会福祉法人シティライト

〒652-0032 兵庫県神戸市兵庫区荒田町 4 丁目 3-14 T/F：078-579-1470

MAIL：matinoakari\_kobe@ybb.ne.jp http://www.bx.misty.ne.jp/~citylights/

発行：関西障害者定期刊行物協会 〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階